



広報 利尻

昭和49年1月15日発行

発行者 利尻町役場



とじて保存
しましょう。
いつか役に立ちます。

画 心

利尻町民憲章

- 一、元気で働き、豊かな産業のまちをつくりましょう。
- 一、きまりを守り、明るく住みよいまちをつくりましょう。
- 一、文化を高め、平和なまちをつくりましょう。
- 一、自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- 一、未来をつくる、子どものしあわせなまちをつくりましょう。

1

,49

新年のごあいさつ

明るく豊かな郷土づくり

利尻町長小田桐 清 実



輝かしい、昭和四十九年の新春を町民の皆さんと共に迎えることが出来て、こんなにうれしいことはありません。

昨年は国の内外の情勢は極めてきびしく、政情の不安に加えて物価の急騰、石油危機などで、国民の生活はおびやかされ、物情騒然たる中に明け暮れましたが、今年、更に一層険悪なきびしい年になりそうです。

幸いにも、わが利尻町の昨年はコンブ漁が振わなかつたが、マグロ・ホツケなどの豊漁に支えられ住民の生活に、さしたる不安もなく、無事平穩裡に新しい年を迎え喜びに堪えません。

又、行政の面では年末の懸案でありました両町との広域行政については、ゴミ・し尿処理につき、四十七年度において既に清掃施設組合を結成し、昨年は利尻郡学校

給食組合を設立して、暮れの十二月から業務を開始し、島内の小・中学校に温かい栄養に富んだ給食を供与することが出来るようになり、児童、生徒の体位の向上と、偏食の矯正に大きく寄与することになりました。

消防についても、昨年四月一日から利尻、礼文消防事務組合が発足し、消防本部を当町におき、時代の要請にこたえて逐次常備化し近代的消防体制の整備、充実を図ることになり、従来の消防団はそのまま存置して、郷土を災害から守る態勢を強化しました。

広域行政の残された問題としては「医療センター」と「老人ホーム」ですが、これには可なり時間が掛かることと思います。

年頭にあたり、常に思うことは「今年こそは」と過ぎ来し方を省み、さて、今年は何をなすべき

かと一年の計を樹てるが、名案もなく、平凡な歳月を送っていることに気がつき、猛省しながら自らを励まし、新たな決意を固めている次第であります。

私は、幸いにも第三期とも無競争で早速させて頂き、この海嶽の御恩義に酬うため、思い切つて新しい構想の下に、町のあらゆる懸案を解決すべく意欲と情熱を燃やして、一期一期を大切に堅実な歩みを経て参りましたが、想い半ばにも達していないことに強く自責の念に駆られています。

今年、国にとつても重大な年であると同時に、町にとつても重大な年柄であります。

就任以来、健全財政を標榜して参りましたが、住民の皆さんの要請にこたえ、公害事業（道路・港湾・橋梁・漁港・公園・治山治水等）のほか、社会福祉事業、特に老人福祉に重点をおき、又教育環境の整備（小中学校の老朽校舎の増改築）、社会教育施設（文化・娯楽・スポーツ）、医療体制の確立など、行政水準の向上に合わせ文化の水準を高めるためのあらゆる施設をなし遂げ、形は一応とのえましたが、これから内容は充実を図るための政策が必要であることを痛感しております。

そのためには、まづ基幹産業である「水産業」を振興させ、これに関連する産業の振興を図り、住民の生活を豊かにしなければなりません。

いま、町ではこの目まぐるしい

経済変動のなかで、世の中の推移を洞察し、これにおくれを取らないために「利尻町総合振興計画」を樹て、取りあえず三ヶ年を実施計画とし、昭和五十一年から五ヶ年間を基本計画として、利尻町の未来像を描き、目下それぞれの部門毎に専門委員によつて審議中であり、結論を得ればこれを議会にかけて議決を経、直ちに実行に移す所存であります。

次には、永年待望の利尻・礼文・サロベツ国立公園の実現が期待されますので、観光客の誘致とこれに伴う産業の振興を図らねばなりません。

自然の観光資源に恵まれないわが町としては、登山道路の整備と公園地の造成を図り、みやげ品の製造を奨励し、味覚の研究を行い物心両面からのサービスに努めなければなりません。

以上は重点施策であります。昭和四十九年度は、国においても又、道においても景気の過熱や資材不足、石油危機等の難局に処して、不要不急の事業は出来るだけ圧縮することが予想され、地方交付税の伸びは期待出来ず補助金、起債等も制限され、町財政もかなり窮乏になるものと思われ、その中で、既存の地元業者を圧迫しない程度に外部資本を導入して、地場産業の振興を図らねばなりません。時局極めて多難の折柄でもあり、住民生活もある程度の耐乏生活を覚悟しなければならぬと思っております。今までは「消費は美德な

年頭のことば

利尻町議会議長 中川原 捨三

り」とか「消費者は王様なり」とかおだてられ、棄てる消費を何の不思議もなく贅沢三昧(ぜいたくさんまい)の生活をして参りました、これからは資源を大切に活用し、ムダを省き新生活に切替えて頂きたいと存じます。

いずれにしても、わが町は島という特殊な地帯で、航路を離れて住民の生活はありません。

稚内からの航路も勿論必要不可欠ではありますが、小樽からの航路も無視出来ないことは御承知のとおりであります。小樽航路は、遠く明治十八年頃から利尻、礼文の経済、文化を育ててくれた航路であり、国や道に対してもこの航路の重要性を充分に認識させ、維持改善方につき強く当局に要請して参る所存であります。

私は、この難局に処し過去に反省を加え、現実を直視し、更に将来の展望に立つて今まで手がけて来た仕事の後仕末をし、明るく豊かで平和な郷土づくりの総しめくりのため、次期町政担当の決意を致しました。町政に臨む私の姿勢としては、昭和三十七年に町長として迎えられた使命に徹し、初心に還つてひたすら町政に専念し誠心誠意、虚飾なく、実直に「言行一致」をモットーとして、住民のおもむくところを確実に把握し付託にこたえ、全体の奉仕者としての任務を全うしたいと考えておりますので、倍旧のお引立てを偏えにお願い申し上げます。

終りに、町民のみなさんの万福を心から祈念し、新年のごあいさつといたします。

町民のみなさんには、つつがなく新春を迎えられたことと存じます。

新しき年の初めにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

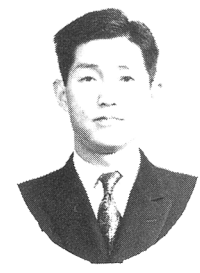


年頭のあいさつ

宗谷支庁長 坂本 富士郎

みなさまあけましておめでとございます。

輝かしい昭和四十九年の新春をみなさまとともに迎えることができましたことは、この上もない喜



めに、力いっぱいのご協力を賜わり、おかげさまで発展向上にめざましい進歩をみましたことは、まことに感謝に堪えないところであります。

さて、中東和平の曙光未だ見え、アラブ諸国の石油戦略によりさなきだに物価高に悩んでいたり世界諸国は、第二次大戦以来のショックに打ちひしがれています。勿論、日本も例外でなく政府も国民も石油危機の対策に忙殺され又、この余波による直接、間接

びであります。さらに平素の道政に対する深いご理解とご協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

私は、当地に着任してはじめての新年を迎え心がまえを新たにす管内の発展のため全力をつくしたいと決意しています。

着任してまず管内について感じましたことは、美しい自然のなかで、豊かな資源を有する海と未来への可能性を秘めた広大な大地は道内屈指といえるほどの前途洋々たるものがあるということ

的な物価高の波をかぶって、正に塗炭の苦しみにあえいでいます。従つてわが町も、好むと好まざるとにかかわらず、国の施策の線に沿つて、本年は懸案の町の振興計画等の諸事業も、予算編成の面で制約を受け、多くを期待できず緊縮政策の方向に指向せざるを得ないと思ひます。

それに、今年には町長と議員共々選挙の年にあたつております。自ら姿勢を正して困難な当面の問題解決に町民一体となつて、渾身の力を傾けたい所存であります。今後、従来に倍したご協力を賜わりますよう心からおねがい申し上げます。

終りにのぞみ、町民みなさんのご健康とご多幸をお祈りしてご挨拶といたします。

しかしながら、道央、道南に比べてとくに社会的諸施設の面で著しく地域格差があることを痛感せざるを得ません。

今後取り組むべき課題は山積しておりますが、私は早急に格差の是正を図りたいと思ひます。

明るく豊かな生活の確立のためには、地域産業、経済の発展助長と公害、災害の未然防止、交通事故の絶滅、教育、文化、児童、老人施設などあらゆる生活の要求が調和するよう総合的な視点にたつて、住みよい環境づくりをみなさまのご協力を得て、積極的に推進することが私の使命と責務であります。

とくに昨年から世界的なエネルギー危機によつて、生活、産業のあらゆる分野がこの影響を受け、極めて多難な年を迎えました。このときにあたり地域住民と行政が一丸となり、また国、道、市町村が密接な連携をとつて堅実な発展を図るべきだと考え、信じています。

当管内は、幸いにして無秩序な開発等による公害問題とこれに伴う土地問題などは、他地域にみられる状態に至つておりませんが、地域開発については十分検討を加え、この厳しく美しい自然を保護し、住民福祉をまもり、生産基盤の整備を進めることが肝要であります。さらにこの点を重視しながら生活福祉、過疎、離島対策をはじめ、日本海、オホーツク海沿岸対策、酪農振興、観光、レクリエーション対策と数多くの課題について、早期整備の推進にあたりたい所存であります。

この郷土宗谷の発展は地域住民が英知を結集し、自らの汗を流して築くことだと思ひます。しかしその条件づくりは私の責務であると考え、あらゆる機会を求めて地域住民のみなさまの卒直な生の声を聴き、これを道政に反映させるよう積極的に対処したいと思ひますので、今後とも貴重なご意見、ご要望をお寄せくださるよう期待してやみません。

年頭にあたり所信の一端を述べあわせてみなさまのご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

年頭にあたつて

北海道知事 堂垣内 尚弘

道民のみなさん、明けましておめでとございます。

希望に輝く昭和四十九年の新春を、みなさんとともに祝いできますことは、まことに喜びにたえません。

昨年の本道は、道民みなさんの努力により、稲作が二年続きの豊作となつたのをはじめ、第三期北海道総合開発計画の進展もあつて産業経済は順調に推移し、道民の所得水準も著しく向上いたしました。

また、本道発展のために重要な役割をになう北海道新幹線ルート
の正式決定、待望の国立旭川医科

大学の開学、北方圏諸国との交流拡大、さらには、私どもの非願である北方領土問題も田中総理大臣の訪ソによつて、今後に期待が持たれるに至りました。

しかし、一方におきましては、世界的な経済変動の余波をうけ、物価の上昇や石油に端を發した生活物資などの問題が、道民生活の上に大きな影響を及ぼし、使い捨て時代にきびしい反省を迫られるとともに、道政上きわめて重要な課題となつてきたのであります。

本年は、このような諸般の情勢に対処するとともに、私の理念とする人間優先の道政をいっそう推

し進め、安定した道民生活の確保につとめる考えであり、とくに心身障害者や老人、子どもなど、社会的に弱い立場にある人々の福祉向上に一段と力を注いでまいりたいと存じます。

私は、今日こそ、北海道の良さの再発見につとめ、五百三十万道民の創意と参画によつて、北海道のもつすぐれた特性を活用し、魅力ある北海道をつくりあげなければならぬと考えております。

新しい北海道を築くものは人であります。

私は、道民のみなさんと相携え新しい開拓精神に満ちた人間性豊かな青少年の育成とともに、理性と不屈の斗魂にあふれた道民氣質の醸成につとめてまいりたいと存じます。

輝かしい年頭にあたり、道民のみなさんにおかれましては、さらに思いを新たにされ、北海道の限りない発展のためにいっそうのご精進をお願い申し上げます。

みなさんのご健勝とご多幸を心からお祈りしてごあいさついたします。

昭和四十九年 元旦



謹賀新年

利尻町

町長 小田桐 清実
助役 小林 貞彦
収入役 津田 博

教育委員会

事務局長 倉科 勝
教育長 小島 光男
教育次長 柿元 秀夫
学校教育係長 上田 紀宏

総務課

総務課長 保野 力雄
総務係長 富樫 昇
財政係長 白幡 忠雄
企画係長 前川 修士

仙法志支所

支所長 長谷川 松雄
支所次長 沢谷 勉

税務課

税務課長 笹原 貞一郎
賦課係長 斉藤 俊明
徴収係長 松田 実

利尻町国民健康保険病院

病院長 中館 俊彦
事務長 白幡 昭三
放射線技師 森 府方
総務係長 佐藤 元紹
看護婦長 東海林 栄子
看護主任 岩島 好子
" " 飛島 あや子
" " 柴田 敬子

民生課

民生課長 五十嵐 国夫
社会係長 田島 順逸
国保衛生係長 柴田 喜義

産業課

産業課長 小坂 俊市
農林商工係長 寺山 明
水産係長 佐々木 捷昭

建設課

建設課長 板谷 静夫
土木係長 米本 末松

仙法志診療所

診療所長 山口 靖夫
事務主任 安田 太郎

水道課

水道課長 大島 正治
業務係長 山本 敏

町営国民宿舎

支配人 糸谷 克明

水道課

水道課長 大島 正治
業務係長 山本 敏

香形保育所

主任保母 佐藤 俊子

仙法志保育所

主任保母 工藤 茂子